

栗山高校1年生「栗山と福祉」

“福祉”は自分ごと

令和7年4月18日（金）

北海道介護福祉学校 教員

鈴木 敦子

授業のねらい

- ・ 高齢者・障害者福祉が“他人事”ではなく自分事であると気づくこと
- ・ 3年間の学びが将来や社会につながることをイメージでき絵うようにする

皆さんに質問です！

- ▶ 「おじいちゃん・おばあちゃん」っていますか？
- ▶ 最近の様子はどう？ 体調・物忘れなど気づいたことある？
- ▶ 日本の高齢者は3600万人（全人口の3割）
- ▶ ➡ 誰にとっても身近な問題！

福祉が“自分ごと”になる瞬間

- ▶ ある中学生の実話紹介

視覚障害者を見かけた→後悔→勉強→
介護福祉士に

クイズ！

「駅で視覚障害のある人に助かる声かけは？」

「駅で視覚障害のある人に助かる声かけは？」

1. 大丈夫ですか？
2. お困りですか？
3. 何かお手伝いしましょうか？

答え：3番！

- ▶ 1・2番は抽象的 or 答えづらい
- ▶ 3番は相手を選べる、尊重する言い方

ポイント：落ち着いた口調・自己紹介・許可を得る

あなたならどうする？（関わりに気づく）

- ▶ ① おばあちゃんが夜中にベッドから落ちた
- ▶ ② おじいちゃんが何度も同じことを聞く
- ▶ → 近くの人と1～2分相談

<対応のポイント>

- ▶ 認知症は3分前のことを忘れる
- ▶ 怒っても意味がない➡かかわり方の工夫で
安心できる
- ▶ 福祉を学ぶことで「心の使い方」が変わる

福祉を学ぶとできること

- ▶ 誰かを安心させられる
- ▶ 家族を支えられる
- ▶ 社会に必要とされる力がつく

3年間の学び紹介

1年生

栗山町の高齢化・福祉の歴史

興味・関心を育てる体験活動、車いす、パラスポーツ、ICT化など

2年生

介護技術の習得、職業理解

3年生

福祉とキャリアのつながりを深める

→ 介護福祉士、保育士、看護師、公務員などの道へ

まとめ

- ▶ 「栗山と福祉」は“気づく・考える・動く”力を育てる
- ▶ 高齢者・障害者との関わり方を学ぶ
- ▶ これからの社会は“誰もが助け合う”

➡ 「気づける人」になろう！

ご清聴ありがとうございました。

